

認識AIを迅速に賢くするフレームワークの構築

— どんなものも一瞬で認識できる世界を目指して —

清川拓哉(奈良先端科学技術大学院大学)

友近圭汰(リクルート住まいカンパニー)

- 
- 商品ラベルのCup1を紐づける
 - 商品を囲むボックスを描く
 - 商品の位置姿勢を紐づける

人間が認識AIのために必死に集めていた学習データを自動で瞬時に集める



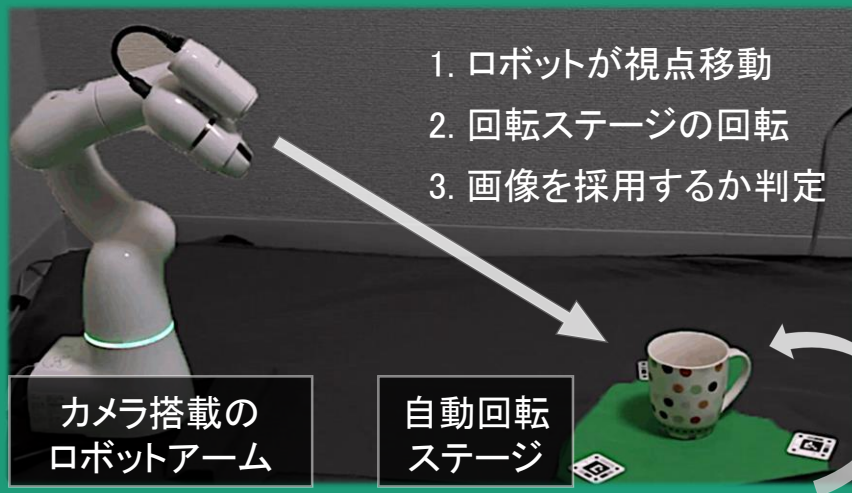
多様な商品に溢れ、品替わりの激しい、コンビニや物流倉庫の無人化を目指す

✓本プロジェクトの成果

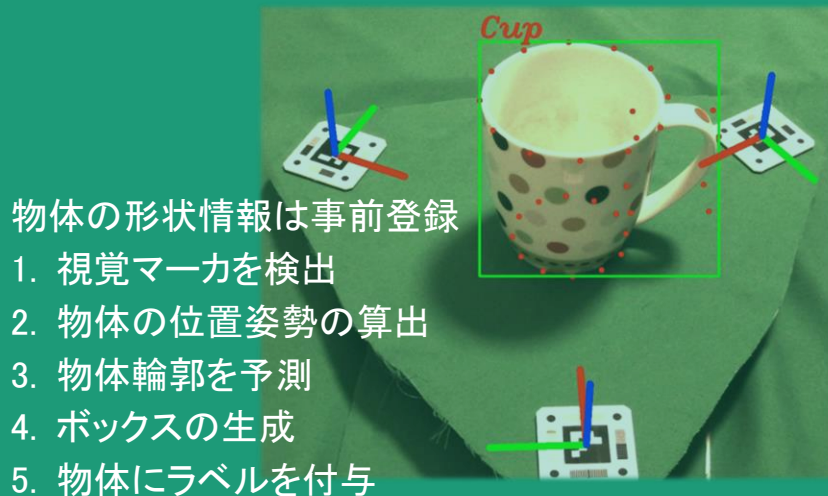
これまで、人手で行ってきた学習データの準備。本プロジェクトでは、多視点画像撮影とアノテーション作業を自動化しました。結果、500枚の画像にかかっていた15時間の作業時間を4分間までに短縮！

✓学習データの準備が迅速に完了するフレームワーク

① 多視点画像撮影



② 自動アノテーション



学習をして、無人コンビニや無人物流倉庫での認識システムとして早期にデプロイ